



主催 公益法人 文化を配慮した介護 DeJaK-友の会
邦人医療支援ネットワーク JAMSNET ドイツ
共催 在ドイツ日本国大使館

講演会 「ドイツで健康寿命を延ばしましょう」

近年、特に日本では「健康寿命」という言葉がよく聞かれるようになりました。「健康寿命」とは健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる、すなわち自立した生活を送れる期間のことです。この健康寿命を延ばすためには、生活習慣を見直すことに加え、病気やその原因・対処法や予防に関する知識が大きな助けとなります。また万が一、自分で判断や意思表示ができなくなった場合に備え、ドイツの制度に基づいて今から準備をしておくことも大事です。

本講演会では、介護の原因となりやすい転倒事故と心臓疾患について、ブランデンブルク州在住の堯天医師ご夫妻にお話を聞きます。健康寿命に関心のある方、ドイツの法的備えの制度について知りたい方、年齢に関わらず、日本語で情報を得る良い機会です。ぜひご参加ください。

冒頭挨拶 三澤 康（在ドイツ日本国大使館次席公使）

講演 1 「転倒事故を防ぐために」 堯天桂子（日本救急医学会救急科専門医）

講演 2 「心臓疾患とその手術」 堯天孝之（日本外科学会外科専門医、現在 Sana Herzzentrum Cottbus (Herzchirurgie) 勤務）

講演 3 「備えあれば憂いなし～委任・後見・事前指示について」 シュペネマン望（DeJaK 友の会会長）

閉会挨拶 馬場 恒春（JAMSNET ドイツ代表、内科医）

日時 2019年6月6日（木）
15～17時（開館14時より）

会場 在ドイツ日本国大使館 多目的ホール
Hiroshimastr. 10, 10785 Berlin

参加ご希望の方は、氏名、所属（職業）、連絡先（メール及び電話番号）を明記の上、
mail@dejak-tomonokai.de（件名「ベルリン講演会」）か
Tel 0173 217 5058 に **5月30日まで**にお申込みください。参加費は無料です。
尚、大使館入館の際、身分証明書の提示が必要ですので、お忘れなく。